2020(令和 2)年度
「『授業改善』のための調査」報告書

柴田学園大学 FD 委員会

[R4.2]

目次

１．実施方法 3
（１）実施期間 3
（２）実施・回収方法 3
（３）実施科目 3
（４）調査項目 3
（５）集計方法 3
（６）回答率 3
（７）結果の公表方法 3
２．結果 4
（１）年度別×学科別の 14 項目の平均値 4
(a) 学科別の検討 4
(b) 両学科の共通点 5
（２）学年、学科別の平均値—健康栄養学科 5
（３）学年、学科別の平均値—児童学科 6
３．まとめ：今後の課題 7
４．付録 8

１．実施方法

（１）実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

（２）実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 WiFi から入力サイトの WEB に接続して行った。

（３）実施科目

卒業研究、学外実習（および一部その関連）科目を除く、全開講科目を対象とした。

（４）調査項目

（付録「授業改善」のための調査用紙　参照）

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。教員の授業についての評価 8 項目(項目番号 1～8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9～13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

これ以降、「授業についての評価（項目番号 1~8)」を「教員の授業評価（Q1~Q8)」、「学生自身の授業の取り組み方についての評価（項目番号 9～13)」を「学生の自己評価(Q9~Q13)」と述べる。

（５）集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。

（６）回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、2019(令和元)年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は 74%、後期は 61%であった。（表１）。

表１　「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
2020 年度前期	132	3525	2148	60.94%
2020 年度後期	122	3055	2034	66.58%

（７）結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。(付録「学生による授業評価アンケート集計結果表（科目別)」参照)

また、全体の集計結果については、報告書を作成し、学内の教員に公表した。

２．結果

（１）年度別×学科別の 14 項目の平均値

以下は健康栄養学科、児童学科の各質問項目についての平均点を年度別に整理したものである。

	健康栄養学科			児童学科		
	30 年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	30 年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度
1 興味関心	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3	4.5
2 シラバスのチェック	4.0	3.8	4.0	3.7	3.5	3.8
3 予習・復習	4.0	3.8	4.0	3.9	3.7	4.0
4 授業への質問	3.7	3.5	3.6	3.8	3.6	3.8
5 私語などしない	4.7	4.6	4.6	4.5	4.3	4.5
6 内容理解	4.3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4
7 目的明確さ	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	4.5
8 教員熱意	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6
9 話し方明瞭・速さ	4.3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4
10 学習内容の難易度	＊R1 新設	4.2	4.4	＊R1 新設	4.2	4.4
11 学習内容量	4.3	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4
12 教材の工夫	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.5
13 シラバスと内容一致	4.5	4.3	4.4	4.6	4.2	4.3
14 総合満足度	4.4	4.3	4.5	4.4	4.3	4.5

(a) 学科別の検討

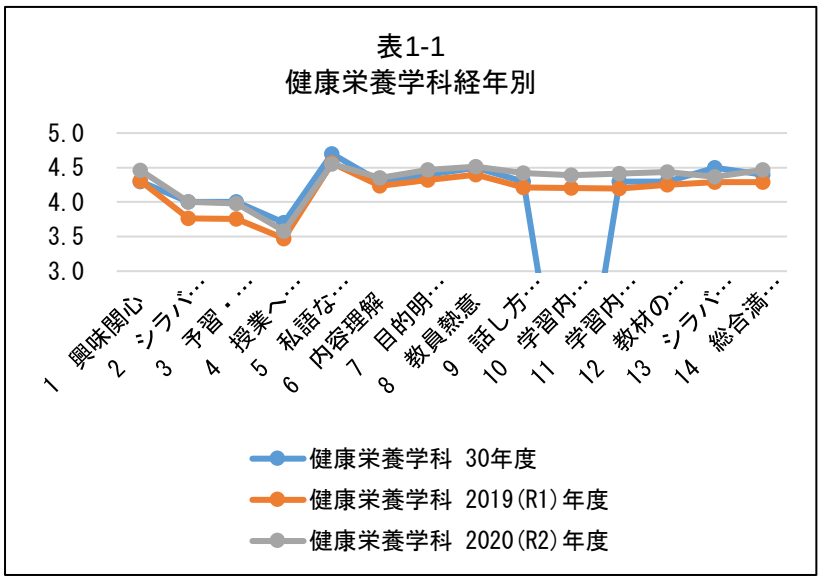


表 1－1 から、健康栄養学科の数値を年度ごとに比較すると、全体的な傾向としては例年と変わるところはないものの、昨年度低下していた、学生によるシラバスのチェック、予習復習、質問の三項目について、一昨年のレベルまで戻っている点、設問 7 以降の、教員の授業についての学生の評価も上がっている点が注目される。

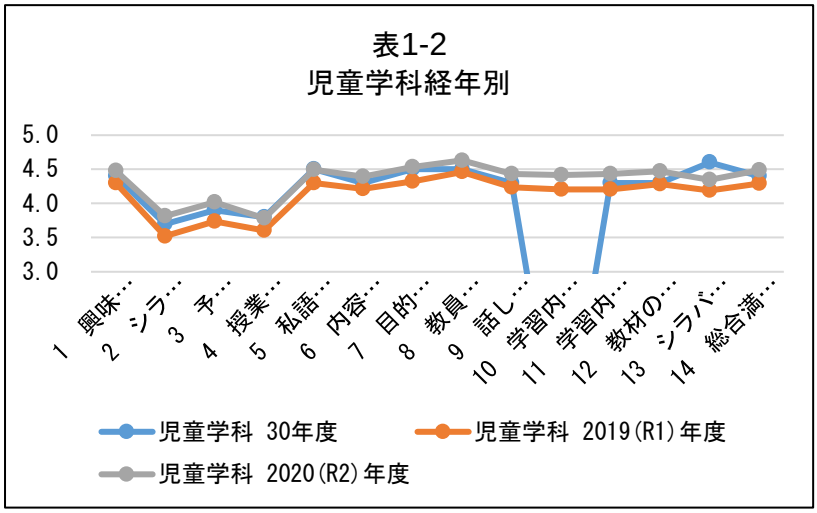


表１－２から、児童学科の数値を年度ごとに比較すると、健康栄養学科同様、全体的な傾向としては大きな変化はないが、シラバスや予習復習、授業への質問の項目で、数値が上昇している。また、設問７以降の、教員の授業についての学生の評価も上がっている点が注目される。

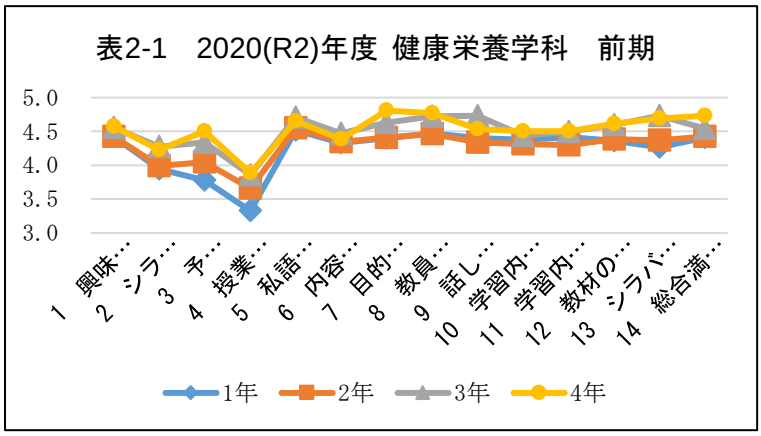
(b) 両学科の共通点

両学科の共通点として、例年同様に、学生の授業への積極的な参加が（数値上は）見られなくなっていることが挙げられる。もっとも、この点は以前から報告書中で指摘し、各教員に周知しており、若干であるが数値の上昇が見られていること、学生による教員の授業の評価（≠学生の自己評価）も高まっていることから、今後も教員全体として学生の授業への積極的な参加を促し、授業内容の理解度を高めていく取り組みを継続していけばよいと考える。

（２）学年、学科別の平均値―健康栄養学科

学科別の平均値への学年による差異の影響を見るために、学科別の平均値を学年別に整理した。

	2020(R2)年度							
	前期				後期			
	健康栄養				健康栄養			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.6
2 シラバスのチェック	3.9	4.0	4.3	4.2	4.0	4.0	4.1	4.4
3 予習・復習	3.8	4.0	4.3	4.5	3.9	4.1	4.2	4.5
4 授業への質問	3.3	3.7	3.9	3.9	3.5	3.9	3.8	4.3
5 私語などしない	4.5	4.5	4.7	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6
6 内容理解	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3	4.4	4.3	4.6
7 目的明確さ	4.4	4.4	4.6	4.8	4.5	4.5	4.4	4.6
8 教員熱意	4.5	4.5	4.7	4.8	4.5	4.6	4.5	4.7
9 話し方明瞭・速さ	4.4	4.3	4.7	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3
10 学習内容の難易度	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5
11 学習内容量	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5
12 教材の工夫	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.6
13 シラバスと内容一致	4.3	4.4	4.7	4.7	4.2	4.5	4.5	4.7
14 総合満足度	4.4	4.4	4.5	4.7	4.5	4.6	4.4	4.7



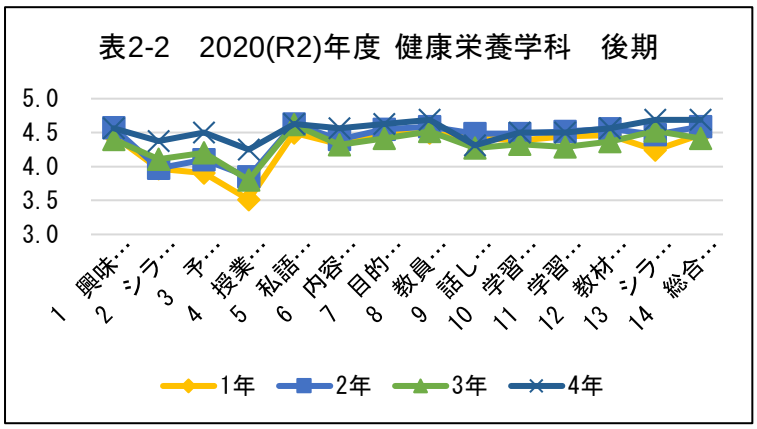
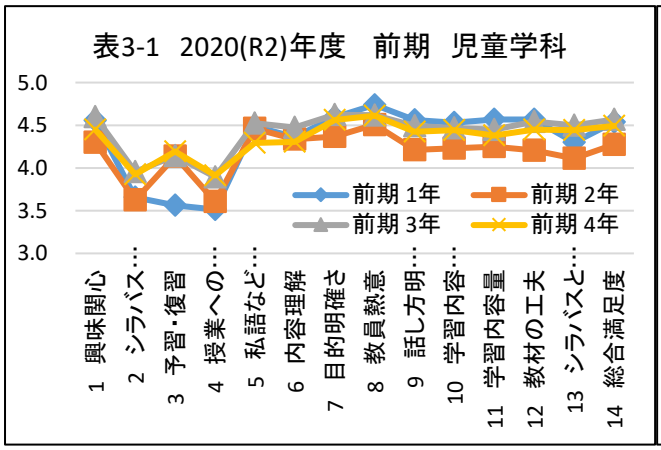


表２－１と表２－２からも明らかなように、健康栄養学科の場合学年が上がるにつれて授業参加への積極性が上がることがわかる。一方で、１年次の科目については、シラバスのチェック、予習復習、授業への質問の項目の値が著しく低くなっている。そのため、表１－１に表れていた全学年平均での消極的な姿勢は、健康栄養学科の場合、特に１年次学生の評価に大きく影響を受けたものであることがわかる。

健康栄養学科１年次に配置されている科目の多くが座学の授業であることにも起因するとは思われるが、学科での特に初年次学生に求める全体としての到達目標に照らして確認をする必要があると思われる。

（３）学年、学科別の平均値―児童学科

	2020(R2)年度							
	前期				後期			
	児童				児童			
	１年	２年	３年	４年	１年	２年	３年	４年
1　興味関心	4.6	4.3	4.6	4.5	4.6	4.2	4.6	4.6
2　シラバスのチェック	3.7	3.6	4.0	3.9	3.9	3.6	4.1	3.9
3　予習・復習	3.6	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0
4　授業への質問	3.5	3.6	3.9	3.9	4.0	3.6	4.1	3.9
5　私語などしない	4.5	4.5	4.5	4.3	4.7	4.4	4.5	4.3
6　内容理解	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	4.2	4.5	4.3
7　目的明確さ	4.6	4.4	4.6	4.6	4.7	4.2	4.6	4.6
8　教員熱意	4.7	4.5	4.6	4.6	4.8	4.4	4.6	4.5
9　話し方明瞭・速さ	4.6	4.2	4.5	4.4	4.6	4.1	4.5	4.5
10　学習内容の難易度	4.5	4.2	4.5	4.4	4.5	4.1	4.5	4.5
11　学習内容量	4.6	4.2	4.5	4.4	4.6	4.1	4.6	4.5
12　教材の工夫	4.6	4.2	4.5	4.5	4.6	4.2	4.6	4.5
13　シラバスと内容一致	4.3	4.1	4.5	4.4	4.4	4.1	4.6	4.5
14　総合満足度	4.5	4.3	4.6	4.5	4.6	4.2	4.6	4.5



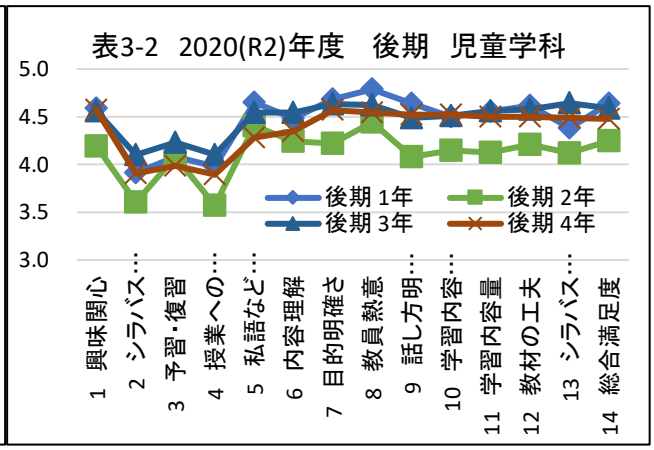


表 3－1、3－2 から、1 年前期の予習復習の項目が著しく低いこと、2 年次学生（現 3 年生）の数値だけが他学年に比べて低いことが見て取れる。特に 2 年次学生は、1 年次であった昨年度も同様の傾向を示しており、昨年度の報告書においては、新カリキュラムの影響もあるかもしれないと推測したが、この年度の 1 年次学生（現 2 年生）についてそのような傾向はみられないことから、これはこの学年固有の傾向であるように思える。もっとも、この結果が学生が学びの到達目標への到達度を下げていることと同視されるかどうかについては、健康栄養学科同様、検討が必要であろう。

また昨年度は、4 年次後期の授業についての評価が他に比べて著しく低かったものの、今年度はそのような傾向はみられない。

３．まとめ：今後の課題

（１）回答率の向上

令和2年度前期　授業改善のためのアンケート						令和2年度後期　授業改善のためのアンケート				
学年ごとの回答率						学年ごとの回答率				
1N	2N	3N	4N	N 全体		1N	2N	3N	4N	N 全体
78.1%	49.9%	32.4%	62.1%	57.9%		94.0%	57.3%	61.2%	83.30%	74.1%
1C	2C	3C	4C	C 全体		1C	2C	3C	4C	C 全体
75.4%	52.8%	65.1%	53.8%	62.9%		64.3%	55.3%	70.3%	53.1%	61.7%

＊N＝健康栄養学科　C＝児童学科　＊○N＝健康栄養学科○年次学生　○C＝児童学科○年次学生

令和 2 年度の回答率は両学科平均で前期 61%、後期 67%であり、学科と学年を分ければ上記のとおりである。これを見れば、1 N 後期、4 N 後期を除けばいずれも回答率が低くなっていることがわかる。4 N の回答率は比較的高いが、これも科目数も受講者数も少ない中での数値であり、そこを除けば全体の回答率はさらに下がることになる。R1 年度の回答率が、両学科平均で前期約 74%、後期 61%であったこと、およびこの数値も前年度（平成 30 年度：前期 84 %、後期 71%）よりも下がっていたことに鑑みれば、回答率は下げ止まっていない。教授会などで呼びかけた結果、令和 2 年度後期は全体としては回答率が上がっているが、児童学科の回答率は低いままである。昨年度の報告書においては、「そもそも学生がアンケートに回答する意欲を失っている可能性も否定できない。」と記載したが、この点は他の要因も含めて検討していく必要がある。

（２）学生の積極性について

例年他の項目に比べて数値が低く出る、シラバスチェック、予習復習、質問については、課題を出すことや、質問のしやすい教材・環境整備が重要であるとの認識を得ており、また、学生の授業評価アンケートと併せて回収している教員用の授業評価アンケートにおいても、学生の受講の姿勢や成績についての教員の懸念が見て取れる。この点については、徐々に改善している様子は見られるが、引き続き学科で対策をとる必要があると思われる。

４．付録

学生による「授業改善」のための調査（質問項目）

「授業改善」のための実施について（前期・後期）

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

学生による授業改善のための調査　集計結果表（科目別）

学生による授業改善のための調査

*必須

自分の授業取り組みについての評価

1.授業の内容に興味・関心を持つことができた *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

2.この授業のシラバスをよくチェックした *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

3.この授業のために予習・復習をした *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

4.この授業で質問等を積極的にした *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

5.授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

6.総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

授業に対する評価

7.この授業の目標、目的は明確であった *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

8.この授業において、教員の熱意が感じられた *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

9.教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

10.この授業の学習内容の難易度は適切であった *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

11.この授業の学習内容の量は適切であった *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

12.この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

13.シラバスと授業内容が一致していた *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

総合評価

14. Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた *

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	○	○	○	○	○	よくあてはまる

自由記述

この授業の良いと思ったところ、要望等、調査について気づいたことを入力してください

回答を入力

戻る　送信

2020年度　前期　「授業改善」のための調査の実施について

2020年度前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。（Wi-Fiの詳細は裏面）

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL:　**https://goo.gl/HznaxR**　（全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください）

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。
コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「_2020前期授業改善のための調査」からも可能です。

回答期間：**原則として授業内で回答時間が指示されます。**（この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください）
最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で9月4日(金)までに回答してください。（集中講義は、講義終了後1週間以内）

回答科目：**2020年度 前期に履修登録している全科目**（ただし学外実習、卒業論文を除く）
※回答確認機能を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール：入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について：
① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。
② 未入力項目があると送信できません。
③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、FD委員会までお願いします。
④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答ください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。
なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。

≪健康栄養学科≫　※児童学科は裏面

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認機能
1N	3101	倫理学	齋藤　雅俊	
	3102	生活と文学	佐々木　隆	
	3104	歴史学	石戸谷　繁	
	3105	地域活性化論（8月集中講義）	小野　昇平	
	3111	化学A	富田　雅弘	
	3114	統計学	中村　友是	
	3115	生命科学	友田　志郎	
	3121	情報機器の操作Ⅰ	奈良　拓哉	
	3131	英語	杉本　久美子	
	3132	生活の英語Ⅰ	保村　和良	
	3151	体育Ⅰ	神　和人	
	3302	社会福祉論	齋藤　史彦	
	3308	生化学	加藤　秀夫、飯泉　恭一	
	3320	調理学（9月集中講義）	石見　百江	
	3325	基礎栄養学	加藤　秀夫	
	3333	健康教育論	前田　朝美	
	3401	家政学原論（1）	佐々木　隆	
	3404	食の心理学	小林　琢哉	
	3407	健康情報学	比内　馨	
	3441	被服学	髙西　典瑚	
	3446	アパレルCAD実習（1）	工藤　寧子	
3N	3312	微生物学	富田　雅弘	
	3313	解剖生理学実験	加地　純、飯泉　恭一	
	3329	スポーツ・運動栄養学（8月集中講義）	中村　亜紀	
	3332	食行動論	前田　朝美	
	3337	臨床栄養管理学	西田・首藤・高橋（千）	
	3338	臨床栄養生化学	西田　由香	
	3340	臨床科学実験	西田　由香	
	3341	臨床福祉栄養学実習	三上　恵理	
	3347	給食経営管理実習	妹尾　良子	
	3415	学校栄養教育論	今村・前田	
	3425	家庭管理学概論	工藤　寧子	
	3433	被服平面構成実習	髙西　典瑚	
	3471	家庭電気・機械	比内　馨	
	3508	家庭科教育法Ⅲ	荒城　英子	
	3515	教育相談	荻嘉　典紀	

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認機能
2N	3135	時事英語Ⅰ	杉本　久美子	
	3137	ドイツ語Ⅰ	比内　馨	
	3139	フランス語Ⅰ	工藤　貴子	
	3304	地域健康支援実習（9月集中講義）	金田　直子	
	3305	健康科学実習	前田　朝美	
	3310	栄養生理学	飯泉　恭一	
	3311	基礎免疫学	加地　純	
	3314	生化学実験	加藤　秀夫、飯泉　恭一	
	3317	食品学	富田　雅弘	
	3324	調理学実習	今村　麻里子	
	3326	基礎栄養学実験	加藤、出口	
	3328	世代別栄養学	出口、市川	
	3342	公衆栄養学	白戸　里佳	
	3345	給食経営管理論	妹尾　良子	
	3432	家庭経営学（2）	工藤　寧子	
	3451	住居学	北原　啓司	
	3463	保育学（2）	福士　章子	
	3472	データ解析演習	奈良　拓哉	
	3501	家庭科教育法Ⅰ	林　孝子	
	3601	教育原理	齋藤　雅俊	
	3602	教職の理解	石戸谷　他	
	3603	教育行政	桐村　豪文	
	3604	教育心理学	小林　琢哉	
4N	3201	卒業論文		実施しない
	3349	臨地実習総合演習	西田、妹尾、前田、白戸	
	3350	給食経営管理臨地実習	妹尾　良子	実施しない
	3351	公衆栄養学臨地実習	白戸　里佳	実施しない
	3352	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	西田　由香	実施しない
	3353	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	西田　由香	実施しない
	3517	教育実習	教職課程委員会	実施しない
	3519	栄養教育実習（事前事後指導を含む。）	前田・今村	実施しない

※　網掛部分は卒業必修科目

問合せ先：東北女子大学FD委員会

≪児童学科≫

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	図書館処理
1C	2108	心理学	小林　琢哉	
	2109	地域活性化論(8月集中講義)	小野　昇平	
	2131	論作文技術Ⅰ	船水　周	
	2133	情報機器の操作Ⅰ	奈良　拓哉	
	2141	英語AⅠ	保村　和良	
	2143	英語BⅠ	杉本　久美子	
	2161	体育Ⅰ	大島・神	
	2201	家政学原論	佐々木　隆	
	2202	教育原理	齋藤　雅俊	
	2205	保育原理	安川　由貴子	
	2207	ピアノ基礎Ⅰ (※担当の教員一人のみ回答)	一戸　智之	
			小林　由美子	
	2211	被服・調理の基礎実習	葛西・今村(麻)・工藤(寧)	
	2220	基礎ゼミⅠ	齋藤　雅俊他	
	2231	家庭管理学概論	工藤　寧子	
	2232	被服学概論	葛西　美樹	
	2233	食物学概論	富田　雅弘	
	2236	児童文学	藤田　晴夫	
	2310	音楽Ⅰ	一戸・國訪	
	2504	子どもの環境	長尾　明義	
	2701	教職の理解	石戸谷　他	
	2804	保育者論	安川　由貴子	
	2811	社会的養護Ⅰ	増田　貴人	
3C	2204	保育の心理学(2)	萩臺　美紀	
	2216	ICT活用法(1)	奈良　拓哉	
	2225	データ処理入門	小林　琢哉	
	2333	教育行政	桐村　豪文	
	2339	生活科教育法	長尾　明義	
	2342	家庭科教育法	葛西・今村・工藤(寧)	
	2344	道徳教育の指導法	齋藤　雅俊	
	2348	健康の指導法	小関　潤子	
	2349	人間関係の指導法	吉田　裕美子	
	2352	表現の指導法Ⅰ(1)	國訪　才子	
	2354	表現の指導法Ⅱ(1)	岩井　康賴	
	2365	教育実習(幼)	教職課程委員会	実施しない
	2366	事前事後指導(幼)	教職課程委員会	
	2382	子どもの保健Ⅱ	福士　章子	
	2383	子どもの食と栄養	今村　麻里子	
	2387	障害児保育	若林　一哉	
	2390	言語表現	吉田　裕美子	
	2394	保育実習指導Ⅱ	保育士課程委員会	

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	図書館処理
2C	2147	ドイツ語Ⅰ	比内　馨	
	2149	フランス語Ⅰ	工藤　貴子	
	2204	教育課程論	上野　秀人	
	2209	声楽Ⅰ	國訪　才子	
	2234	ICTの基礎	友田　志郎	
	2301	国語Ⅰ	船水　周	
	2304	社会B	石戸谷　繁	
	2315	小学体育A	大島・佐藤	
	2502	子どもの保健	松尾　泉	
	2505	子どもの言葉	船水　周	
	2507	ピアノ表現Ⅰ (※担当の教員一人のみ回答)	一戸　智之	
			小林　由美子	
	2509	造形表現A	長尾　明義	
	2510	造形表現B	岩井　康賴	
	2511	子どもの運動あそびⅠ	小関　潤子	
	2603	人間関係の指導法	吉田　裕美子	
	2604	環境の指導法	佐藤　崇之	
	2707	教育方法・技術	花田　裕	
	2806	保育の計画と評価	江苅川　淳子	
	2809	乳児保育Ⅱ	福士　章子	
	2813	保育実習指導Ⅰ	保育士課程委員会	
4C	2209	卒業論文		実施しない
	2226	人権教育論	小野　昇平	
	2335	国語科教育法	船水　周	
	2336	社会科教育法	本間　信博	
	2337	算数科教育法	高橋　信進	
	2338	理科教育法	花田　裕	
	2340	音楽科教育法	一戸　智之	
	2343	体育科教育法	上野　秀人	
	2345	特別活動の指導法	花田　裕	
	2358	生徒指導	石戸谷　繁	
	2359	教育相談	萩臺　美紀	
	2361	教育実習(小)	教職課程委員会	実施しない
	2362	事前事後指導(小)	長尾・杉本	
	2363	学校教育体験実習Ⅰ(小)	教職課程委員会	実施しない
	2373	児童家庭福祉(1)	小野　昇平	
	2389	保育相談支援	江苅川　淳子	

※　　網掛部分は卒業必修科目

【東北女子大学Wi-Fi】
ID：tojo-wifi
パスワード：sakura-2019

2020年度　後期　「授業改善」のための調査の実施について

2020年度後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。（Wi-Fiの詳細は裏面）

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL：　**https://goo.gl/aBWDsV**　**（全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください）**

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。
コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「_2020後期授業改善のための調査」からも可能です。

回答期間：**原則として授業内で回答時間が指示されます。**（この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください）
最終週の授業でも回答指示がなかった場合、**各自で2月22日(月)までに**回答してください。（集中講義は、講義終了後1週間以内）

回答科目：**2020年度 後期に履修登録している全科目（ただし学外実習、卒業論文を除く）**
※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール：入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について：
① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。
② 未入力項目があると送信できません。
③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。
④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答ください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。
なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。

≪健康栄養学科≫　※児童学科は2枚目

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3103	日本国憲法	小野　昇平	
	3112	化学B	飯泉　恭一	
	3113	物理学	比内　馨	
	3122	情報機器の操作Ⅱ	奈良　拓哉	
	3133	生活の英語Ⅱ	保村　和良	
	3152	体育Ⅱ	神　和人	
	3301	地域健康支援論	加藤(隆)・今村	
	3303	健康衛生学	倉内　静香	
	3309	栄養生化学	加藤、出口	
	3318	食品健康科学	前多　隼人	
	3323	基礎調理学実習	今村　麻里子	
	3327	応用栄養学	加藤、出口	
	3403	トレーニング科学	大島　義晴	
	3405	おいしさの科学	今村　麻里子	
	3406	食品機能学	富田　雅弘	
	3431	家庭経営学(1)	工藤　寧子	
	3442	被服立体構成実習	工藤　寧子	
	3461	保育学(1)	稲士　章子	
	3462	家庭看護	大津　美香	
3N	3201	卒業論文		実施しない
	3319	食品科学	富田　雅弘	
	3321	食品科学実験	富田　雅弘	
	3334	栄養教育論実習	前田　朝美	
	3336	実践介護食事論	西田　由香	
	3339	臨床栄養学実習	西田　由香	
	3343	地域健康栄養学	餅　美知子	
	3344	公衆栄養学実習	餅　美知子	
	3348	栄養管理総合演習	西田・妹尾	
	3509	家庭科教育法Ⅳ	髙西　典樹	
	3513	生徒指導(進路指導を含む)	石戸谷　繁	
	3514	生徒指導	石戸谷　繁	
	3516	事前事後指導(中・高)	髙西・工藤(寧)	
	3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村	

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
2N	3123	プレゼンテーション論	友田・奈良	
	3134	科学のための英語	杉本　久美子	
	3136	時事英語Ⅱ	杉本　久美子	
	3138	ドイツ語Ⅱ	比内　馨	
	3140	フランス語Ⅱ	工藤　貴子	
	3306	解剖生理学	加地、飯泉	
	3307	病態別生理学	加地　昨	
	3315	栄養生化学実験	加藤、出口	
	3316	栄養生理学実験	飯泉　恭一	
	3322	食品学実験	富田　雅弘	
	3330	応用栄養学実習	加藤、出口	
	3331	栄養教育論	前田　朝美	
	3335	臨床栄養学	西田　由香	
	3346	給食経営実践論	妹尾、花田(玲)	
	3421	健康・食生活論	加藤(隆)・今村・渡部(他)	
	3445	被服学実験	宮野　洋子	
	3502	家庭科教育法Ⅱ	林　孝子	
	3606	教育課程論	森本　洋介	
	3607	道徳教育の指導法	齋藤　雅俊	
	3609	特別活動の指導法	花田　裕	
	3610	教育方法・技術	森本　洋介	
4N	3518	教職実践演習(中・高)	齋藤(雅)、小井、髙西　他	
	3520	教職実践演習(栄養教諭)	齋藤(雅)、小井 他	

※　網掛部分は卒業必修科目

東北女子大学FD委員会（問合せ先：学務課）

≪児童学科≫

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2101	倫理学	齋藤　雅俊	
	2103	日本国憲法	小野　昇平	
	2124	生物学	友田　志郎	
	2125	数学	比内　馨	
	2126	統計学	小林　琢哉	
	2132	論作文技術Ⅱ	船水　周	
	2134	情報機器の操作Ⅱ	奈良　拓哉	
	2142	英語AⅡ	保村　和良	
	2144	英語BⅡ	杉本　久美子	
	2162	体育Ⅱ	大島・神	
	2203	教育心理学	小林　琢哉	
	2206	保育の心理学	萩臺　美紀	
	2208	ピアノ基礎Ⅱ（※担当教員一人のみ回答）	一戸　智之	
			小林　由美子	
	2221	基礎ゼミⅡ	齋藤　雅俊　他	
	2309	生活	長尾　明義	
	2311	音楽Ⅱ	一戸・諏訪	
	2503	子どもの人間関係	吉田　裕美子	
	2601	保育内容総論	安川　由貴子	
	2808	乳児保育Ⅰ	吉田　裕美子	
	2812	社会的養護Ⅱ	増田　貴人	
2C	2122	化学	飯泉　恭一	
	2123	物理学	比内　馨	
	2148	ドイツ語Ⅱ	比内　馨	
	2150	フランス語Ⅱ	工藤　貴子	
	2210	声楽Ⅱ	諏訪　才子	
	2235	ICT活用法	友田　志郎	
	2302	国語Ⅱ	船水　周	
	2305	算数A	高橋　信道	
	2307	理科A	比内　馨	
	2308	理科B	友田　志郎	
	2312	図画工作A	長尾　明義	
	2313	図画工作B	岩井　康頼	
	2316	小学体育B	佐藤　睦子	
	2405	生活科教育法	長尾　明義	
	2501	子どもの健康と安全	福士　章子	
	2506	子どもの表現	岩井・諏訪	
	2508	ピアノ表現Ⅱ（※担当の教員一人のみ回答）	一戸　智之	
			小林　由美子	
	2512	子どもの運動あそびⅡ	小関　潤子	
	2605	言葉の指導法	船水　周	
	2703	特別支援教育論	松本　敏治	
	2704	道徳教育の指導法	齋藤　雅俊	
	2805	子ども家庭支援の心理学	萩臺　美紀	
	2810	障害児保育	若林　一哉	
	2814	保育実習ⅠA	保育士課程委員会	実施しない
	2815	保育実習ⅠB	保育士課程委員会	実施しない
3C	2206	臨床心理学	萩臺　美紀	
	2217	ICT活用法(2)	奈良　拓哉	
	2224	児童心理学実験	小林　琢哉	
	2326	家庭科実習	葛西・工藤(寧)	
	2332	教育史	齋藤　雅俊	
	2335	国語科教育法	船水　周	
	2336	社会科教育法	石戸谷　繁	
	2337	算数科教育法	久慈　和寛	
	2338	理科教育法	花田　裕	
	2339	生活科教育法	長尾　明義	
	2340	音楽科教育法	一戸　智之	
	2341	図画工作科教育法	蝦名　敦子	
	2342	家庭科教育法	葛西・工藤(寧)	
	2343	体育科教育法	上野　秀人	
	2350	環境の指導法	佐藤　崇之	
	2353	表現の指導法Ⅰ(2)	諏訪　才子	
	2355	表現の指導法Ⅱ(2)	岩井　康頼	
	2371	社会福祉	小野　昇平	
	2395	保育実習Ⅱ	保育士課程委員会	実施しない
4C	2111	自然科学概論	比内　馨	
	2209	卒業論文		実施しない
	2223	特別支援教育論	松本　敏治	
	2360	教職実践演習（幼・小）	齋藤　雅俊　他	
	2364	学校教育体験実習Ⅱ（小）	教職課程委員会	実施しない
	2372	相談援助	久保　治美	
	2374	児童家庭福祉(2)	小野　昇平	
	2384	家庭支援論	安川　由貴子	
	2396	保育実践演習	安川　由貴子	

※　網掛部分は卒業必修科目

【東北女子大学Wi-Fi】
ID：tojo-wifi
パスワード：sakura-2019

東北女子大学FD委員会（問合せ先：学務課）

各　位

FD 委員会

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、5～10 分程度調査回答のための時間を設けて回答させてください。（講義内に回答させると、回答率が非常に高くなります。）

学生には事前にメールにて「2020 年度　後期　「授業改善」のための調査の実施について」を送信していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、学務課まで問い合わせるようお伝えください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思います。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

◇　調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。

1．　【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開いてください。

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「__2020 後期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

（学内の無線 LAN が使用できませんので、講義終了後に各自必ず回答するようお伝えいただくか、一般講義室へ移動して回答させてください。）

2．（授業の科目番号、科目名を読み上げて、）この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。

3．電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

20**年度　○期　学生による授業改善のための調査　集計結果表（科目別）

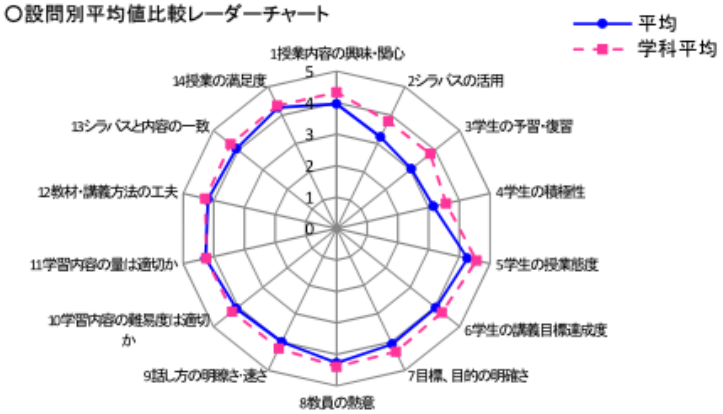
東北女子大学

科目番号	5555
科目名	**********
教員名	○○○○

対象学科	○年 **学科
授業形態	演習
教員番号	***

履修者数	31　名
回答者数	26　名
回答率	83.9　%
全学平均回答率	60.6　%

○設問別平均値比較レーダーチャート



○項目別回答分布(人数と平均値)

区分	項目番号	設問文	回答分布(人) 5 よくあてはまる	4 まあまああてはまる	3 どちらでもない	2 あまりあてはまらない	1 まったくあてはまらない	平均	学科平均
学生自身の授業取組みについての評価	1	授業の内容に興味・関心を持つことができた	5	16	4	1	0	4.0	4.3
	2	この授業のシラバスをよくチェックした	3	6	11	6	0	3.2	3.8
	3	この授業のために予習・復習をした	2	5	12	6	1	3.0	3.8
	4	この授業で質問等を積極的にした	2	8	10	4	2	3.2	3.6
	5	授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった	12	9	5	0	0	4.3	4.6
	6	総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う	8	12	5	1	0	4.0	4.3
授業についての評価	7	この授業の目標、目的は明確であった	9	11	5	1	0	4.1	4.3
	8	この授業において、教員の熱意が感じられた	11	11	4	0	0	4.3	4.4
	9	教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	9	10	6	0	1	4.0	4.2
	10	この授業の学習内容の難易度は適切であった	8	13	4	1	0	4.1	4.2
	11	この授業の学習内容の量は適切であった	12	10	3	1	0	4.3	4.3
	12	この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた	10	12	3	1	0	4.2	4.3
	13	シラバスと授業内容が一致していた	8	12	6	0	0	4.1	4.3
総合評価	14	Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた	11	11	4	0	0	4.3	4.3

○自由記述

・……
・……
・……